

令和 5年度 高松市施策評価表（ 4年度分）

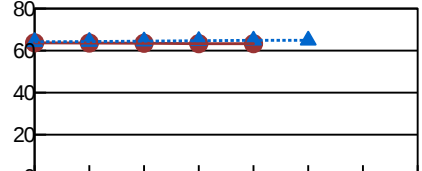
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価 A	評価担当	局名	都市整備局
	政 策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成			課・室名	都市計画課
	施 策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進			電話番号	087-839-2455

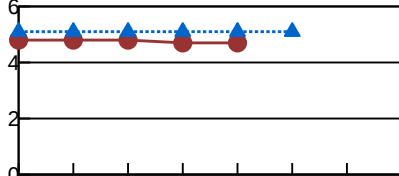
1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
平成30年4月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値				中期目標	長期目標	指標の うごき  目 標 達成度 (達成度) 97.5% 29点															
			2年度	3年度	4年度	5年度	5年度																	
	用途地域内の人口比率	%	63.5	63.3	63.3	64.9	64.9																	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移																					
	前年度と同値の63.3%となり、目標をおおむね達成した。		 <table><caption>成果状況の推移 (用途地域内の人口比率)</caption><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr><tr><td>H30</td><td>63.5</td></tr><tr><td>H31</td><td>63.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>63.3</td></tr><tr><td>R3</td><td>63.3</td></tr><tr><td>R4</td><td>63.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>64.9</td></tr><tr><td>R6</td><td>64.9</td></tr><tr><td>R7</td><td>64.9</td></tr></table>					年度		実績値	H30	63.5	H31	63.3	R2	63.3	R3	63.3	R4	63.3	R5	64.9	R6	64.9
年度	実績値																							
H30	63.5																							
H31	63.3																							
R2	63.3																							
R3	63.3																							
R4	63.3																							
R5	64.9																							
R6	64.9																							
R7	64.9																							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき																	
			2年度	3年度	4年度	5年度	5年度																		
	中心市街地の居住人口の割合	%		4.8	4.7	4.7	5.1	5.1																	
	成果状況 / 達成度評価			成果状況の推移																					
	前年度から92人減の19,968人とほぼ横ばいで、居住人口の割合としても前年度と同値の4.7%となり、概ね目標を達成した。			 <table><caption>成果状況の推移 (中心市街地の居住人口の割合)</caption><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr><tr><td>H30</td><td>4.8</td></tr><tr><td>H31</td><td>4.7</td></tr><tr><td>R2</td><td>4.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>4.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>4.7</td></tr><tr><td>R5</td><td>5.1</td></tr><tr><td>R6</td><td>5.1</td></tr><tr><td>R7</td><td>5.1</td></tr></table>					年度	実績値	H30	4.8	H31	4.7	R2	4.7	R3	4.7	R4	4.7	R5	5.1	R6	5.1	R7
年度	実績値																								
H30	4.8																								
H31	4.7																								
R2	4.7																								
R3	4.7																								
R4	4.7																								
R5	5.1																								
R6	5.1																								
R7	5.1																								



目 標 達成度
(達成度) 92.2%
27点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			2年度	3年度	4年度	5年度	5年度	
	成果状況 / 達成度評価			成果状況の推移				
				1 0 H30H31R2R3R4R5R6R7				

3 市民満足度調査の状況

	2年度	3年度	4年度	
満足度	45位 (19.8%)	44位 (22.7%)	47位 (20.3%)	
不満度	17位 (18.5%)	14位 (20.5%)	14位 (22.4%)	
重要度	45位 (58.6%)	42位 (63.8%)	44位 (59.1%)	

4 施策に係るコスト

	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）
事業費	10,117	19,163	22,911	91,921
人件費	47,810	48,169	75,588	77,534
トータルコスト	57,927	67,332	98,499	169,455

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

平成30年3月に策定した立地適正化計画に基づき、今後、デジタル技術も活用しながら、実効性のある誘導施策・事業を実施し、市街地の更なる拡大の抑制と都市機能の集約を図るとともに、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す。

また、都市計画マスタープランを改定し、公共交通を基軸とした集約型都市の構築に向けた効果的な施策・事業を推進する。

施策推進の方向性

今後とも、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少、少子・超高齢社会を見据え、30年後、50年後においても活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進する。

5年度は、シーフロントゾーンを始めとする、用途地域の見直しについて検討を進め、次期総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画に、将来のまちづくりの方向性を見据えた土地利用の考え方を反映する。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

[illegible]

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						(総合評価)		A
適正な土地利用の推進								
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標		達成度
○	○	多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業	92%	A	継続	居住誘導区域内の人口密度		96.8%
						中心市街地の居住人口の割合		92.2%
		(評価対象外) 都市計画制度運用事業						
○		豊かな住まいづくり事業	92%	A	拡充	市民満足度調査 (居住年数 1 0 年未満の対象者における、住みよい・まあまあ住みよいの割合)		83.7%
						居住誘導区域内の人口密度		96.8%
基本事業名						(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標		達成度